天照大御神

天照大御神は高天原に神留りまして、天地四方神人物を主宰し、照臨の神徳至らざる無きの義なり。

皇大神は統大神の義なり。宇宙を統べて万神の徳を合わせ玉うの義なり。

この大神の神徳を仰ぎ敬恭粛拝するに必ずこの大御名を称うべし。

もしあやまちて諸々の悪念を萌さばこの大御名を称うべし。

もし諸々の善念を発せばこの大御名を称うべし。

もし諸々の幸福を得ればこの大御名を称うべし。

もし諸々の災厄を被ればこの大御名を称うべし。

能く此の如く心に誠に此の大御名を称うるときは、悪念は忽ち消して善志に移り、善念は愈々張りて行いを遂げ、幸福は益々大にして子孫に伝え、災厄は変改して福祥となり、終身服庸して此の如くなれば命終の後必ず高天原に帰して無量の福祉を受け、その徳九族に延きて共に娯楽を蒙ること更に疑いなきところなり。

神典を拝読するの実理眞要此義に達するを以て第一の深奥とす。

皇大神宮主典　山口起業

（明治七年　神典採要通解眼目より）

nkiyopon 20070428